10・11・12月

園長：親しさや優しさが増して人に対する愛情や信頼感が芽生えてますね。

りなちゃんとかくれんぼ始めると、りのちゃんの手を取って、“一緒に隠れよう”と誘ってくれました。
周りのお友達のことを大人以上によく見ていて、柔らかい雰囲気で誘ってくれるりなちゃんに、りのちゃんも身を委ねていますね＾＾
今までは大人やお兄さんお姉さんに受け止めてもらっていましたが、同じクラスのお友達同士でも受け止め合うそんな姿がよくみられるようになったなと嬉しく思います。

こんな風に、お互いの気持ちを受け止め合ったり、気持ちが通じ合ったりする嬉しい関わりを通して、関係性が深まっていくようです。

わかちゃんが使っていたアンパンマンの車に乗りたくて、待っていたなぎさちゃんに、自分から「はい、使っていいよ」と持ってきてくれたわかちゃんです。自分の気持ちだけでなく相手の気持ちにも目を向けてくれたのだな、と感じました。

これまで色々な体験をしてきた中で、「どうしたら良いかな？」「どうすればお友だちが喜ぶかな？」と自分で考え、自分で行動する力がしっかり芽生えているのだなぁと感じます。

お茶を飲むために集まった子どもたち。わかちゃんに「はるきくんにどうぞしてくれる？」と水筒を渡すと、どうぞ、としてくれたのですが、はるきくんはそのままパクリとお口へ。わかちゃんははるきくんの代わりに水筒が落ちないように最後まで支えていてくれました。

お友達が飲みやすいように持っていてあげよう…と相手の行動に合わせて自分も行動する、そんな心の通い合いを感じました。そんなわかちゃんに安心して体を預けるはるきくんの姿にもわかちゃんとの関係の積み重ねが表れていますね。

3期まとめ

お友だちと一緒がいい！とか、このお友だちと手をつなぎたい！…など、それぞれの意思もしっかり出てきています。そのぶん、ぶつかったり、思うようにいかなかったりすることもあるけれど、そのたび、「〇〇したいのかぁ、どうしようか？」と保育者とも一緒に考えながら、過ごしてきました。そうした体験を重ねてきたからか、それが徐々に、お友だち同士で、「そうなのか～」と聞いてくれる姿も時々見られることもあり、そんな場面に出くわした時には嬉しいやら感動するやら…子どもたち自身が体験したことの積み重ねを感じます。